

カラギーナンの品質改善

——マリリン・サイエンス——

PP紐不使用でコンタミ防止

マリリン・サイエンスは、高品質アルカリ処理済みカラギーナン「TCG」グレードの本格販売を開始した。従来の海藻養殖では、メインロープに荷物を結束する際に使用されるPP紐で海藻の固定を行ってきたが、収穫時の分離が不十分で製

品へのコンタミが問題視されてきた。製造元のマレーシア・タカラ社ではPP紐の使用を中止し、メインロープに固定された細くて丈夫なサブロープを使用。海藻の収穫はサブロープからそぎ落とすため、コンタミの問題が払拭された。

また乾燥工程を天日干しから機械乾燥に変更したことで、衛生面と物性を飛躍的に改善。アルカリ処理後に粉碎し洗浄することにより不純物の混入が低減し、さらに乾燥室で加熱された海藻原料はクーリングタワーで急速冷却され浮遊異物の分

離が行われる。結果的にゲル強度の大幅な向上と一般生菌数3000/g以下を達成するなど、そのまま粉碎して使用できる原料に仕上げた。

そのほか、工程を改善したことにより、色調を有意に改善した。TCGグレードは形状がグラニユール状（1〜2mm）で、カリゲル強度は1200〜1500g/cm²となっており、従来品のTCGグレードと比べて高品質な製品設計となっている。